

先日は、はるばる岡山県総社市より軽油をご搬送いただき誠にありがとうございました。

片岡市長に除雪車の燃料不足をお話したところ、支援実施の申し出があり、大雪の中、翌8日午後4時30分にはタンクローリー車で軽油4000リットルが到着するという即断、即決、即行の災害支援をいただきました。

この結果、降り積もる雪の中で、燃料切れのため活動休止を予定していた除雪車のフル稼働が可能となり、市民の足を確保することができました。

ご厚情に深く感謝を申し上げますとともに、総社市で災害等が発生した際は、本市も支援させていただきます。

現在では、軽油を含めガソリン、灯油等においても、復旧された道路から次々と搬入されており、市内の燃料不足は解消されております。

最後になりましたが、貴市の今後のますますのご発展をご祈念申し上げまして、略儀ながら書面をもって御礼申し上げます。 (一部抜粋)

平成30年2月20日

勝山市長

山岸正裕

総社市の被災地支援に
福井県勝山市長からお礼の手紙

総社市は記録的大雪で市民生活に影響が出た福井県勝山市を支援するため、2月8日に除雪車用の軽油4000リットルを同市に届けました。

同月20日には、勝山市の山岸正裕市長からお礼の手紙が届きました。このほかにも、勝山市と福井市の市民からお礼の言葉が寄せられています。

問い合わせ 危機管理室 (☎) 8599



ボランティア 2386 人の心からのおもてなしと沿道からの声援



テレビのニュースで総社市から8時間もかけて軽油を運んでくださったことを知りました。本当にありがとうございます。

大雪で私たちが疲れきっていますが、もうひとふん張りがんばろうと思います。 (一部抜粋) (福井市民)

私は、勝山市に住む一市民です。この度は、福井県勝山市への燃料の支援本当にありがとうございます。どうしてもお礼を伝えたくてメールさせていただきました。 (勝山市民)

総社市コミュニティ地域づくり協議会が発足

4月から、総社市自由枠交付金地域づくり協議会連合会と総社市地域コミュニティ連絡協議会が統合し、新組織「総社市コミュニティ地域づくり協議会」が設立されました。

問い合わせ 人権・まちづくり課国際・交流推進係 (☎) 8242

■備品の貸し出し

総社市地域コミュニティ連絡協議会は、各地区のコミュニティ協議会を対象に備品の貸し出しを行っていました。新組織が発足したことから、総社市全域が貸し出しの対象となりました。

貸し出し備品は下記一覧表のとおりです。活用してください。

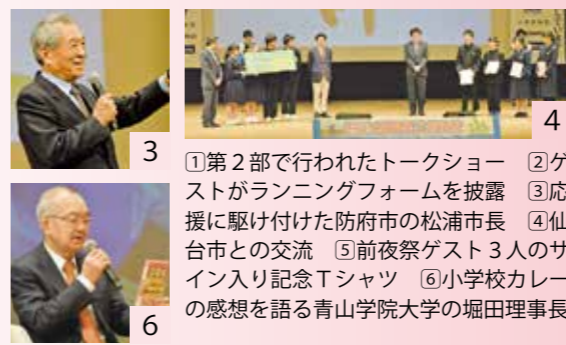
備品	数量	備品	数量
かき氷機	3基	投光器	50基
綿菓子機	2基	法被	200着
ポップコーン機	4基	屋外イベント用音響設備	1式
鉄板焼き機	1基	マイクセット	1式
ポン菓子機	1基	アルミステージ	1式
発電機	3基	射的セット	2組



貸し出しを行っている備品の一例

※市民の諸活動の支援を目的としているため、個人・団体の営利目的のために貸し出すことはできません

豪華ゲストを招いた前夜祭で大いに記念大会を盛り上げる



大会前日の2月24日には、市民会館で前夜祭を開催。10年間のあゆみやコーススポンサーの紹介のほか、連携協定を結ぶ仙台国際ハーフマラソン大会開催地である仙台市から伊藤敬幹副市長と七郷中の生徒が来総し、総社東中の生徒と交流。第2部ではゲストにエリック・ワイナイナ選手、田村和希選手、山口衛里さんを招いたトークショーが行われました。ランニングフォームの指導やサイン入りTシャツのプレゼントに、会場は大いに盛り上がっていました。

お礼

大会開催にあたり、準備や運営、沿道警備、給水、駐車場といったボランティア、沿道からの応援、物的な支援や盛り上げなどにご協力いただき、深く感謝申し上げます。また、交通規制などでは何かとご迷惑をお掛けしました。ご協力ありがとうございました。

大会長 片岡聡一